

一九五八年六月二十五日
発行印刷



第41卷 第4号

史学・地理学・考古学

- イギリス封建王政の展開について…………… 富 沢 靈 岸 (1)
- 郷土家の家族的周辺…………… 平 山 敏 治 郎 (31)
- ヤマト地名考…………… 中 山 修 一 (53)

動 向

- 中国考古学の諸問題 (一) …………… 水 伊 野 清 一
林 藤 道 治 (64)

学界消息

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

- 74 馮信放 江蘇崇德羅家谷古遺址調査記「考」一九五七、四、四八
 一五二
- 75 尹煥章等 江蘇丹徒葛村新石器時代遺址探掘記「考」一九五七、
 五、一八一—二四
- 76 羅宗真 南京安懷村古遺址發掘簡報「考」一九五七、五、二四—
 九
- 77 水野清一 中国先史時代研究の展望、東洋史研究、一六、三(一
 九五七)、一—三九
- 78 樋口隆康 新発見の西周銅器群とその問題点、同右、四〇—六一
- 79 趙青芳 南京市北陰陽宮第一、二次的發掘「報」五八、一、七—
 二三
- 80 尹煥章 關於東南地区幾何印紋陶時代的初步探測「報」五八、一、
 七五—八五
- 81 周世榮 湖南省首次發現戰國時代的文化遺存「文」一九五八、一、
 三九—四一
- 82 郭冰廉 湖北黃坡楊家灣的古遺址調査「考」一九五八、一、五六
 一—八
- 83 李鑑昭 江蘇無錫閻閭域的調査「考」一九五八、一、六一
- 84 王士倫 浙江嘉興徐婆橋發現印紋陶「考」一九五八、三、三七
- 85 陳福坤 江蘇江寧泉發現「印紋硬陶」古墓「考」一九五八、四、
 五五—六
- 86 林巴奈夫 殷文化の編年、考古学雜誌四三、三(一九五八)、三
 一一—五

訂 正

前号(四一巻三号)に次の脱落がありましたのでつしんで訂正いたします。
 六三頁下段六行目、ゲッティゲン大学の教授(シナ学者)の次に、「Hans O. H. Stange 氏」を附加す。

執筆 者 紹 介

| | |
|-----------|-----------|
| 富 沢 靈 岸 | 島根大学助教授 |
| 平 山 敏 治 郎 | 大阪市立大学助教授 |
| 中 山 修 一 | 西京高校教諭 |
| 水 野 清 一 | 京都大学教授 |
| 伊 藤 道 治 | 京都大学助手 |
| 林 巴 奈 夫 | 京都大学助手 |

季刊西洋史学

第XXXVII輯

- 三月革命期における封建的賦課廃棄の運動……………末川清
 絶対王政成立期における「問屋」織元の歴史的 성격……………船山栄一
 いわゆる「シェイズの叛乱」の背景について……………池本幸三
 ○学界動向（古代） 書評・紹介

第XXXVIII輯

- 中世都市フィレンツェにおける政治思想……………谷泰
 アメリカ革新主義の側面……………志邨晃佑
 アメリカ独立革命と土地投機……………武則忠見
 ○学界動向（中世） 書評・紹介

各輯 ¥ 140. バック・ナンバー在庫分は取扱います。

京都大学文学部内
 西洋史学研究室

日本西洋史学会

振替は 西洋史研究室宛
 京都 10369 へ

編集後記

本号の刊行が少しくおれてしまいましたことと、それに谷川氏の力作の「下」を編輯の都合上、次号に見送らなければならなくなりましたことについて、まづおわび申し上げます。あまり残念です。少いスペースをめぐつての編輯会議での各委員のくらしみを、本誌の行間によみとつていただけますなら、もうそれだけで本望というところでございます。いくぶん愚痴っぽくなつて申し訳ありませんが、本年度も「遺憾ながら……刊行費補助金交付の対象となり得ません」でした。この花園にもられる豊富な学問的内容とは逆に、「史林」の財政的うらづけは、またしても暗い一年間のあゆみを強いられることとなりました。そんな次第ですから、会費滞納のむきには、是非この夏に御納入下さいませ。よろしくお願いいたします。

同時に會員各位の御投稿をおまちしております。

(永井三明)

史林 (第四一巻 第四号)

一九五八年六月二五日印刷
 一九五八年七月一日発行
 定価 百円

発行所 史学研究会

京都市左京区吉田本町
 京都大学文学部内

理事長 振替京都五一五五番
 編集主任 宮崎市定
 赤松俊秀

印刷所 中村印刷株式会社

京都市下京区西七条御所ノ内東町三九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLI NO. 4

Jul., 1958

CONTENTS

Articles :

- On the Development of the English Feudal
Monarchy *R. Tomizawa* (1)
- Around the Family of a Gentry (郷士) *T. Hirayama* (31)
- On the Place Name " *Yamato* " (大和) *S. Nakayama* (53)

Note :

- Problems on the Chinese Archaeology *S. Mizuno*
of Today *M. Itô* (65)
I. Hayashi

News :

Published
by
THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan